

# 令和2年度中津市観光アンケート調査報告書

令和3年2月

観光推進課

# 目次

1	調査概要	P 3
2	本調査総括	P 5
3	本調査の結果分析	
	○属性分析	P 7
	○問 1 分析	P 1 3
	○問 2 分析	P 1 6
	○問 3 分析	P 1 8
	○問 4 分析	P 2 0
	○問 5 分析	P 2 3
	○問 6 分析	P 2 5
	○問 7 分析	P 3 0
	○問 8 分析	P 3 1
	○問 9 分析	P 3 1
	○問 1 0 分析	P 3 2
	○問 1 1 分析	P 3 5

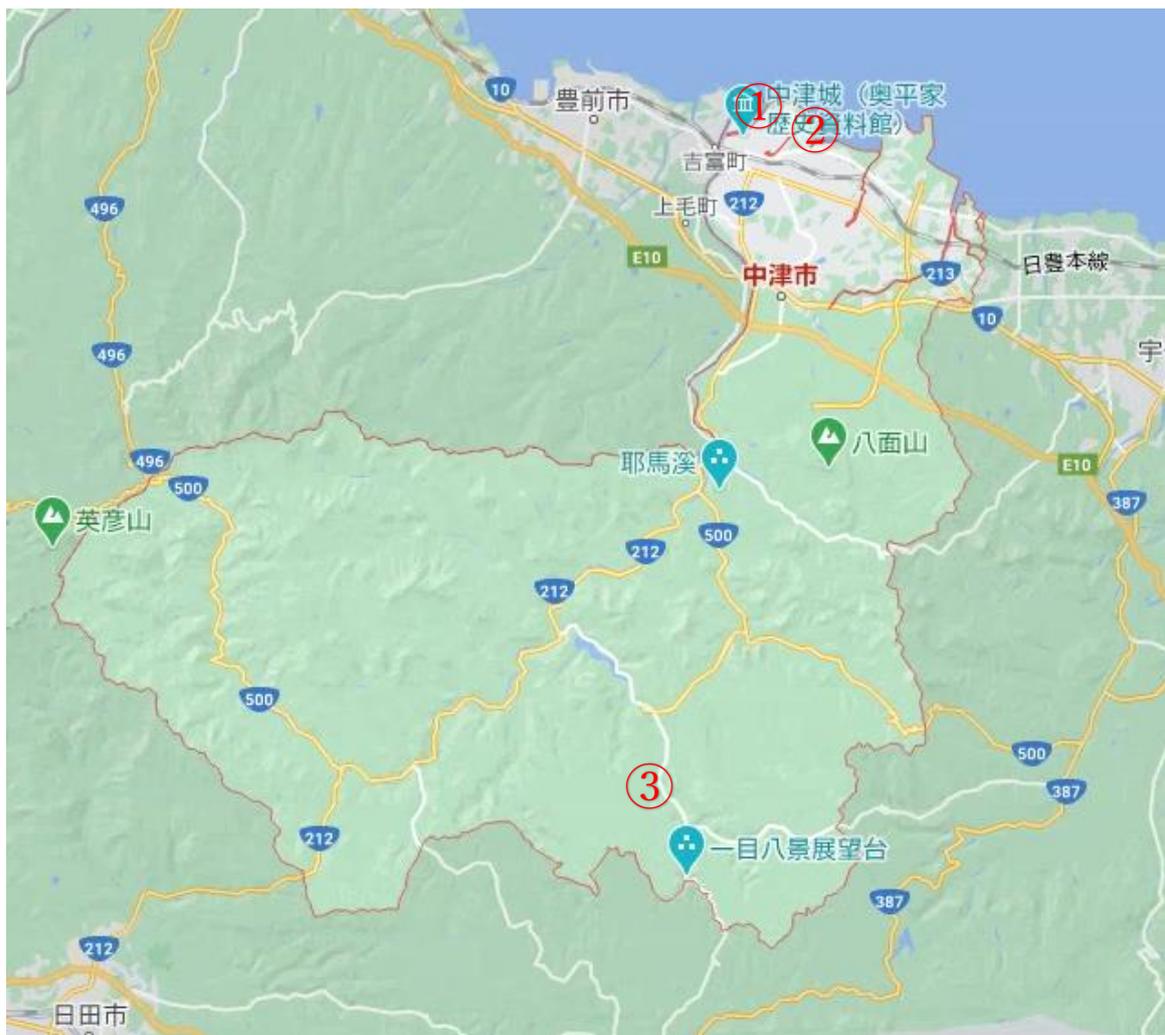
## 1 調査概要

### ○調査の目的

本調査は、中津市へ来訪する観光の動態を把握するために平成 30 年度（2018 年度）より開始しました。従来の観光動態調査（中津市観光入込客数調査、市内宿泊者数調査）の方法では捉えられなかった観光客の属性や観光の実態等を把握し分析することで、より効果的な観光事業を実施していきます。また、調査結果を地域へフィードバックし、行政のみならず、地域一体となった観光まちづくりを目的としています。

### ○調査方法（聞き取り調査）

- ① 福澤茶屋
- ② 黒田官兵衛資料館
- ③ 深耶馬溪観光案内所



○調査対象期間

9月19日（シルバーウィーク） 10時～13時 3時間

11月23日 14時～17時 3時間

計 2日間

9月19日は新型コロナウイルス第2波収束時期

11月23日は新型コロナウイルス第3波拡大時期

○収集サンプル数

日付	福澤茶屋	官兵衛資料館	深耶馬溪観光案内所	合計
9月19日	28	26	47	101

日付	福澤茶屋	官兵衛資料館	深耶馬溪観光案内所	合計
11月23日	31	28	50	109

	福澤茶屋	官兵衛資料館	深耶馬溪観光案内所	合計
合計	59	54	97	210

○質問事項

- ・調査日
- ・居住地域 都道府県／市町村
- ・性別／年齢

- 問1. 今回の中津（耶馬溪を含む）旅行は何回目になりますか。（4択中1つ選択）
- 問2. 今回の旅はどれに該当しますか。（8択中1つ選択）
- 問3. 今回の旅はいつ計画しましたか。（5択中1つ選択）
- 問4. 今回の旅の情報源を教えてください。（10択中複数選択可）
- 問5. 今回の旅の決定要因を教えてください。（8択中複数回答可）
- 問6. 今回の旅はどれに該当しますか。（3択中1つ選択。記入あり）
- 問7. 今回の旅で一番心に残ったグルメを教えてください。（自由記述）
- 問8. 今回の旅全体の予算額を教えてください。（金額記入）
- 問9. 今回の旅の交通手段を教えてください。（11択中複数選択）
- 問10. 今回の旅では、中津の観光地でどこを訪れます（した）か。（20択中複数選択）
- 問11. 中津市内の観光で困ったことはありますか。（自由記述）

## 2 総括

### (居住地)

新型コロナウイルス感染拡大下において、マイクロツーリズム志向が高まり九州・沖縄地区からの来訪が8割近くを占めた。市町村別では北九州市、大分市、福岡市が上位3位となっている。

### (年齢)

男性が女性より約13%多い結果となり、年齢層は40歳代から60歳代がボリュームゾーンとなったが、18歳以下の来訪がほとんどなかった。

### (訪問回数)

訪問回数は初回が4割、次いで4回以上のヘビーリピーターが多かった。

### (旅形態)

家族旅行の割合が5割を超え、友人17.1%、その他11.4%、ひとり旅9.0%、カップル(未婚)8.6%のいう結果になった。

### (旅の準備期間)

計画自体も比較的短く、旅先も近場というマイクロツーリズム化が進んだ。

### (旅の情報源)

旅の情報源は経験29.6%、インターネット情報18.5%、家族・知人17.6%、観光パンフレット9.3%の順である。自身の経験や家族・知人からの口コミが全体の4割を超えるが、インターネット・SNS経由合計は昨年から5%以上の伸びを示した。

### (旅の決定要因)

旅の決定要因は自然等が32.1%、歴史・文化25.7%、グルメが17.4%という順になり、新型コロナウイルス感染拡大を受けて屋内観光施設が避けられたことも影響していると考えられる。

### (日帰り・宿泊)

昨年と比べ、マイクロツーリズム化の影響から日帰り旅行が約10%増え、市内宿泊者の割合が約13%減っている。

### (グルメ)

旅の満足度を高めたグルメは、中津からあげやだんご汁、鰻料理、そば料理などの回答が目立った。

### (予算額)

2020年は、全体（宿泊+日帰り合計）で15,618円となり、昨年と比べ9,000円程度減少となった。宿泊と日帰りそれぞれの予算ともに昨年と比べて減少しており、宿泊は9,000円、日帰りは5,700円程度の減少となった。

### (交通手段)

昨年と比べて自家用車の割合は15%程度下がり56.5%となったが、その反面バス類（路線バス、観光バス）の利用率が上がっている。レンタカーはほぼ同様の割合8.7%であったが、電車類（在来線、新幹線）は割合が下がった。

### (目的地)

2019年と比べ、屋内観光施設の割合が減っている。中津城で約14%減、福澤旧居・記念館は約21%減、また中津城に隣接している中津市歴史博物館も低い水準であり、それに連動して寺町も約9%減となった。その反面、青の洞門や耶馬溪の石橋、御霊もみじなどの屋外観光スポットは増えている。平均訪問数は昨年とほぼ同数となった。

新型コロナウイルス感染拡大下では、昨年との比較でマイクロツーリズム化が顕著で旅に変化がでた。インターネット広告・SNSをメインの広告媒体として、居住エリア・年齢などの属性毎に耶馬溪の自然や日本遺産、鰻料理、からあげなどをテーマに効果的な情報発信する必要がある。特にボリュームゾーンの家族旅行は子連れの若年層（40歳代）と熟年夫婦（50歳代以上）に分かれるので広告戦略を最適化する必要がある。2020年の旅の予算額は、宿泊・日帰り（共通して昼食代・お土産代・夕食代、交通費の4項目）共に減少している。観光消費額を向上させるためには、宿泊につなげる工夫が必要で、三密対策等の新型コロナウイルス対策を徹底し、旅の滞在時間延長を図る必要がある。

■来訪者属性（居住地、性別、年齢）

○居住地域（記入方式）

居住地域	都道府県	:	市町村	:
------	------	---	-----	---

● 9月実施分

大区分	中区分	集計	割合	昨年割合 (参考)
北海道	北海道地方	0	0.0%	0.5%
本州	東北地方	0	0.0%	0.7%
	関東地方	5	5.0%	8.9%
	中部地方	3	3.0%	4.3%
	近畿地方	8	7.9%	8.7%
	中国地方	4	4.0%	9.3%
四国	四国地方	1	1.0%	0.6%
九州・沖縄	九州・沖縄地方	80	79.2%	66.4%
外国	その他	0	0.0%	0.6%
	合計	101	100.0%	100.0%

※10%以上で青色

● 9月九州・沖縄内訳

県名	人数	割合
福岡県	43	53.8%
佐賀県	0	0.0%
長崎県	0	0.0%
熊本県	1	1.3%
大分県	33	41.3%
宮崎県	0	0.0%
鹿児島県	2	2.5%
沖縄県	1	1.3%
合計	80	100.0%

※10%以上で青色

● 9 月市町村別上位

順位	市町村	都道府県	集計
1	大分市	大分県	19
1	北九州市	福岡県	19
3	行橋市	福岡県	11
4	中津市	大分県	7
5	苅田町	福岡県	3
5	瀬戸市	愛知県	3
5	福岡市	福岡県	3

9 月は九州・沖縄地方が 79.2% と突出し、近畿地方 7.9%、関東地方 5.0%、中国地方 4.0% となった。九州・沖縄地方のみ前年から割合が増加し、そのほかの地区は減少した。また九州・沖縄地区では福岡県からの来訪が 53.8%、大分県が 41.3% となった。市町村単位では、大分市や北九州市がトップ、行橋市、中津市と続いた。

● 11 月実施分

大区分	中区分	集計	割合	昨年割合 (参考)
北海道	北海道地方	0	0.0%	0.5%
本州	東北地方	0	0.0%	0.7%
	関東地方	3	2.8%	8.9%
	中部地方	1	0.9%	4.3%
	近畿地方	12	11.0%	8.7%
	中国地方	12	11.0%	9.3%
四国	四国地方	0	0.0%	0.6%
九州・沖縄	九州・沖縄地方	81	74.3%	66.4%
外国	その他	0	0.0%	0.6%
	合計	109	100.0%	100.0%

※10%以上で青色

● 11月九州・沖縄内訳

県名	人数	割合
福岡県	56	69.1%
佐賀県	1	1.2%
長崎県	6	7.4%
熊本県	1	1.2%
大分県	16	19.8%
宮崎県	1	1.2%
鹿児島県	0	0.0%
沖縄県	0	0.0%
合計	81	100.0%

※10%以上で青色

● 11月市町村別上位

順位	市町村	都道府県	集計
1	北九州市	福岡県	17
1	福岡市	福岡県	17
3	広島市	広島県	7
4	大分市	大分県	6
5	久留米市	福岡県	5
6	飯塚市	福岡県	3
6	佐世保市	長崎県	3
6	別府市	大分県	3

11月は九州・沖縄地方が74.3%、近畿地方、中国地方各11%となり、前年と比べて上昇したが、ほかの地区は軒並み減少した。九州・沖縄地区では福岡県が7割近く、大分県では2割近くとなった。市町村別では北九州市と福岡市がトップとなり、広島市や大分市となり、9月と比べ大分市や中津市は順位を落とした。

●総合実施分（回答率：100%）

大区分	中区分	集計	割合	昨年割合 (参考)
北海道	北海道地方	0	0.0%	0.5%
本州	東北地方	0	0.0%	0.7%
	関東地方	8	3.8%	8.9%
	中部地方	4	1.9%	4.3%
	近畿地方	20	9.5%	8.7%
	中国地方	16	7.6%	9.3%
四国	四国地方	1	0.5%	0.6%
九州・沖縄	九州・沖縄地方	161	76.7%	66.4%
外国	その他	0	0.0%	0.6%
	合計	210	100.0%	100.0%

※10%以上で青色

●総合 九州・沖縄実施分

県名	人数	割合
福岡県	99	61.5%
佐賀県	1	0.6%
長崎県	6	3.7%
熊本県	2	1.2%
大分県	49	30.4%
宮崎県	1	0.6%
鹿児島県	2	1.2%
沖縄県	1	0.6%
合計	161	100.0%

※10%以上で青色

●総合 自治体別上位

順位	市町村	都道府県	集計
1	北九州市	福岡県	36
2	大分市	大分県	25
3	福岡市	福岡県	20
4	行橋市	福岡県	11
5	中津市	大分県	9
6	広島市	広島県	8
7	飯塚市	福岡県	5
7	久留米市	福岡県	5

9月では、マイクロツーリズム傾向が顕著で北九州市以東の近隣自治体や大分市からの来訪がメインだったが、11月になると福岡市や中国地方や近畿地方からの来訪割合が増えた。2020年は2019年と比べると中部地方や関東地方の割合が約7.5%減り、その分九州・沖縄地方の割合が約10.3%増えた結果となっている。

○性別

選択式

性別：  男性  女性

●9月性別

性別	人数	割合
男性	57	56.4%
女性	41	40.6%
空白・無効	3	3.0%
合計	101	100.0%

●9月年齢別

	～18	19～29	30～39	40～49	50～59	60～	無回答	計
男性	1.0%	6.9%	5.9%	11.9%	16.8%	11.9%	2.0%	56.4%
女性	0.0%	5.0%	3.0%	8.9%	5.0%	18.8%	0.0%	40.6%
空白・無効	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	2.0%	3.0%
合計	1.0%	11.9%	8.9%	20.8%	21.8%	31.7%	4.0%	100.0%

※10%以上で青色

9月の来訪者は男性が女性より15%以上多く、40歳代、50歳代、60歳代以上の男性、60歳代以上の女性がボリュームゾーンとなった。

● 11月性別

性別	人数	割合
男性	60	55.0%
女性	48	44.0%
空白・無効	1	0.9%
合計	109	100.0%

● 11月年齢別

	～18	19～29	30～39	40～49	50～59	60～	無回答	計
男性	0.0%	8.3%	8.3%	8.3%	8.3%	18.3%	3.7%	55.0%
女性	0.0%	7.3%	3.7%	8.3%	12.8%	9.2%	2.8%	44.0%
空白・無効	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	0.9%
合計	0.0%	15.6%	11.9%	16.5%	22.0%	27.5%	6.4%	100.0%

※ 10%以上で青色

11月は9月と同様男性の来訪者が多く、男性は60歳代以上、女性は50歳代が多かった。

● 総合性別（性別回答率：98.1%）

性別	人数	割合
男性	117	55.7%
女性	89	42.4%
空白・無効	4	1.9%
合計	210	100.0%

● 総合年齢別（年齢回答率：94.8%）

	～18	19～29	30～39	40～49	50～59	60～	無回答	計
男性	0.5%	7.6%	7.1%	10.0%	12.4%	15.2%	2.9%	55.7%
女性	0.0%	6.2%	3.3%	8.6%	9.0%	13.8%	1.4%	42.4%
空白・無効	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.5%	1.0%	1.9%
	0.5%	13.8%	10.5%	18.6%	21.9%	29.5%	5.2%	100.0%

※ 10%以上で青色

2020年は前年と比べ男性比率が多くなったが、両年とも40歳代、50歳代、60歳代以上がボリュームゾーンであった。2020年は18歳以下がかなり少なく、学生層がコロナウイルスの感染拡大を受けて外出自粛していると考えられる。

問1. 今回の中津（耶馬溪を含む）旅行は何回目になりますか。（1つに✓印）

初めて  2回  3回  4回以上

● 9月分析

全体	人数	大分県	人数	北九州市	人数	京築地方	人数	福岡市	人数
1回目	33	1回目	7	1回目	5	1回目	1	1回目	2
2回目	11	2回目	5	2回目	2	2回目	0	2回目	0
3回目	9	3回目	5	3回目	1	3回目	0	3回目	1
4回目以上	47	4回目以上	16	4回目以上	13	4回目以上	14	4回目以上	0
空白	1	空白	0	空白	1	空白	0	空白	0
計	101	計	33	計	22	計	15	計	3

京築地方・・・行橋市、荊田町、みやこ町、豊前市、築上町、吉富町、上毛町

順位	初めて	人数	順位	2回	人数	順位	3回	人数	順位	4回以上	人数
1	福岡県	7	1	大分県	5	1	大分県	5	1	福岡県	29
1	大分県	7	1	福岡県	4	2	福岡県	2	2	大分県	16
3	東京都	3	3	鹿児島県	1	3	東京都	1	3	兵庫県	1
3	大阪府	3	3	山口県	1	3	山口県	1	3	広島県	1
3	愛知県	3									

	初めて		2回		3回		4回以上		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
～18	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.0%	0	0.0%	1	1.0%
19～29	6	5.9%	2	2.0%	0	0.0%	4	4.0%	0	0.0%	12	11.9%
30～39	4	4.0%	0	0.0%	1	1.0%	4	4.0%	0	0.0%	9	8.9%
40～49	10	9.9%	1	1.0%	2	2.0%	7	6.9%	1	1.0%	21	20.8%
50～59	8	7.9%	3	3.0%	1	1.0%	10	9.9%	0	0.0%	22	21.8%
60以上	4	4.0%	4	4.0%	5	5.0%	19	18.8%	0	0.0%	32	31.7%
年齢無回答	1	1.0%	1	1.0%	0	0.0%	2	2.0%	0	0.0%	4	4.0%
合計	33	32.7%	11	10.9%	9	8.9%	47	46.5%	1	1.0%	101	100.0%

※ 5%以上は青色

9月は全体として初めての訪問と4回以上が多数を占め、大分県内、北九州市、京築地方は4回以上が多数を占めた。初めての旅行は東京都や大阪府、愛知県以外ではほとんどが九州からの来訪でありその他もほぼ九州内からの来訪であった。初めての場合は18歳以下を除くどの年齢層からも来訪があったが、4回以上の旅行者は年齢が上がるにつれ割合が増加した。

● 1 1 月分析

全体	人数	大分県	人数	北九州市	人数	京築地方	人数	福岡市	人数
1回目	52	1回目	2	1回目	5	1回目	0	1回目	9
2回目	16	2回目	5	2回目	3	2回目	0	2回目	3
3回目	11	3回目	0	3回目	2	3回目	0	3回目	2
4回目以上	29	4回目以上	9	4回目以上	7	4回目以上	1	4回目以上	2
空白	1	空白	0	空白	0	空白	0	空白	1
計	109	計	16	計	17	計	1	計	17

京築・・・行橋市、苅田町、みやこ町、豊前市、築上町、吉富町、上毛町

順位	初めて	人数	順位	2回	人数	順位	3回	人数	順位	4回以上	人数
1	福岡県	29	1	福岡県	9	1	福岡県	6	1	福岡県	18
2	大分県	9	2	大分県	5	2	広島県	2	2	大分県	9
2	大阪府	9	3	大阪府	2	3	山口県	1	3	長崎県	2
4	広島県	6				3	埼玉県	1			
5	兵庫県	5				3	長崎県	1			

	初めて		2回		3回		4回以上		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
～18	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
19～29	11	10.1%	3	2.8%	2	1.8%	1	0.9%	0	0.0%	17	15.6%
30～39	7	6.4%	3	2.8%	0	0.0%	3	2.8%	0	0.0%	13	11.9%
40～49	5	4.6%	5	4.6%	1	0.9%	7	6.4%	0	0.0%	18	16.5%
50～59	7	6.4%	3	2.8%	4	3.7%	10	9.2%	0	0.0%	24	22.0%
60以上	16	14.7%	1	0.9%	4	3.7%	8	7.3%	1	0.9%	30	27.5%
年齢無回答	6	5.5%	1	0.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	7	6.4%
合計	52	47.7%	16	14.7%	11	10.1%	29	26.6%	1	0.9%	109	100.0%

※ 5 %以上は青色

9月と同様に初めてと4回以上が多数を占めた。大分県、北九州市は4回以上が多数を占めたが、福岡市からの来訪は初めてが多かった。初めての場合は福岡県、大分県のほかに大阪府、広島県、兵庫県がランクインしたが、そのほかは福岡県、大分県以外は少数であった。初めての来訪では19～39歳までの若年層と50歳代以上が多数となり、4回以上では50歳代が多い結果となった。

●総合分析（回答率：99.0%）

全体	人数	大分県	人数	北九州市	人数
1回目	85	1回目	9	1回目	10
2回目	27	2回目	10	2回目	5
3回目	20	3回目	5	3回目	3
4回目以上	76	4回目以上	25	4回目以上	20
空白	2	空白	0	空白	1
計	210	計	49	計	39

京築地方	人数	福岡市	人数	九州	人数
1回目	1	1回目	9	1回目	46
2回目	0	2回目	3	2回目	25
3回目	0	3回目	2	3回目	15
4回目以上	15	4回目以上	2	4回目以上	71
空白	0	空白	1	空白	3
計	16	計	17	計	160

京築・・・行橋市、苅田町、みやこ町、豊前市、築上町、吉富町、上毛町

順位	初めて	人数	順位	2回	人数	順位	3回	人数	順位	4回以上	人数
1	福岡県	29	1	福岡県	13	1	福岡県	8	1	福岡県	45
2	大分県	9	2	大分県	10	2	大分県	5	2	大分県	25
2	大阪府	9	3	大阪府	2	3	山口県	2	3	長崎県	2
4	広島県	6	4	鹿児島県	1	4	広島県	2	4	兵庫県	1
5	兵庫県	5	4	山口県	1	5	埼玉県	1	4	広島県	1
						6	東京都	1			
						7	長崎県	1			

全体	初めて		2回		3回		4回以上		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
～18	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.5%	0	0.0%	1	0.5%
19～29	17	8.1%	5	2.4%	2	1.0%	5	2.4%	0	0.0%	29	13.8%
30～39	11	5.2%	3	1.4%	1	0.5%	7	3.3%	0	0.0%	22	10.5%
40～49	15	7.1%	6	2.9%	3	1.4%	14	6.7%	1	0.5%	39	18.6%
50～59	15	7.1%	6	2.9%	5	2.4%	20	9.5%	0	0.0%	46	21.9%
60以上	20	9.5%	5	2.4%	9	4.3%	27	12.9%	1	0.5%	62	29.5%
年齢無回答	7	3.3%	2	1.0%	0	0.0%	2	1.0%	0	0.0%	11	5.2%
合計	85	40.5%	27	12.9%	20	9.5%	76	36.2%	2	1.0%	210	100.0%

2020年は、初めてが40.5%、4回以上36.2%、2回目目が12.9%、3回目目が9.5%の順となり、この割合は昨年とほぼ変わらない。

地区別では大分県内や北九州市、京築地方などのエリアは4回以上のヘビーリピーターが多数を占めたが、福岡市からは初めての来訪が多かった。

訪問回数にかかわらず福岡県からの来訪が1番多く、続いて大分県であった。この傾向は2019年と同様で、そのほか大阪府や広島県、兵庫県などがランクインする。

初めて訪問する場合は、18歳以下を除いてすべての年齢層で多く、4回以上は40歳代以上が多い。18歳以下を除けば、2019年と同様の傾向を示す。

## 問2. 今回の旅はどれに該当しますか。(1つに✓印)

- ひとり旅   カップル（未婚）   家族旅行（夫婦）   家族旅行（夫婦+子ども）  
家族旅行（その他）   友人   出張（仕事の空き時間）   その他

### ● 9月分析

	ひとり旅	カップル (未婚)	家族旅行 (夫婦)	家族旅行 (夫婦+子ども)	家族旅行 (その他)	友人	出張 (仕事の空き時間)	その他	無回答	総計
人数	9	5	24	14	11	20	1	15	2	101
割合	8.9%	5.0%	23.8%	13.9%	10.9%	19.8%	1.0%	14.9%	2.0%	100.0%

### ※10%以上で青色

人数	ひとり旅	カップル (未婚)	家族旅行 (夫婦)	家族旅行 (夫婦+子ども)	家族旅行 (その他)	友人	出張 (仕事の空き時間)	その他	無回答	合計
～18	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%
19～29	1.0%	0.0%	0.0%	2.0%	2.0%	5.9%	0.0%	1.0%	0.0%	11.9%
30～39	2.0%	1.0%	0.0%	2.0%	0.0%	3.0%	0.0%	1.0%	0.0%	8.9%
40～49	0.0%	1.0%	4.0%	5.9%	2.0%	2.0%	1.0%	4.0%	1.0%	20.8%
50～59	3.0%	1.0%	7.9%	1.0%	2.0%	5.0%	0.0%	2.0%	0.0%	21.8%
60以上	2.0%	2.0%	10.9%	2.0%	4.0%	4.0%	0.0%	6.9%	0.0%	31.7%
年齢無回答	1.0%	0.0%	1.0%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	4.0%
合計	8.9%	5.0%	23.8%	13.9%	10.9%	19.8%	1.0%	14.9%	2.0%	100.0%

### ※5%以上で青色

9月は家族旅行（夫婦）、家族旅行（夫婦+子ども）、家族（その他）の家族旅行が4割以上を超えた。年齢は家族旅行（夫婦）が50歳代・60歳代以上が多数、家族旅行（夫婦+子ども）では40歳代が多数となった。カップル（未婚）、友人は比較的年齢層が分散した。

● 11月分析

	ひとり旅	カップル (未婚)	家族旅行 (夫婦)	家族旅行 (夫婦+子ども)	家族旅行 (その他)	友人	出張 (仕事の空き時間)	その他	無回答	総計
人数	10	13	36	16	9	16	0	9	0	109
割合	9.2%	11.9%	33.0%	14.7%	8.3%	14.7%	0.0%	8.3%	0.0%	100.0%

※ 10%以上で青色

人数	ひとり旅	カップル (未婚)	家族旅行 (夫婦)	家族旅行 (夫婦+子ども)	家族旅行 (その他)	友人	出張 (仕事の空き時間)	その他	無回答	合計
～18	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
19～29	0.0%	7.3%	0.9%	0.0%	0.9%	6.4%	0.0%	0.0%	0.0%	15.6%
30～39	1.8%	0.9%	1.8%	5.5%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.9%
40～49	2.8%	1.8%	2.8%	6.4%	1.8%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	16.5%
50～59	0.9%	0.9%	12.8%	1.8%	1.8%	1.8%	0.0%	1.8%	0.0%	22.0%
60以上	3.7%	0.9%	11.9%	0.0%	1.8%	4.6%	0.0%	4.6%	0.0%	27.5%
年齢無回答	0.0%	0.0%	2.8%	0.9%	0.0%	1.8%	0.0%	0.9%	0.0%	6.4%
合計	9.2%	11.9%	33.0%	14.7%	8.3%	14.7%	0.0%	8.3%	0.0%	100.0%

※ 5%以上で青色

11月は家族（夫婦）が突出して高くなっており、家族旅行合算で6割近くとなった。家族旅行（夫婦）の年齢層は9月同様50歳代・60歳代以上が高く、家族旅行（夫婦+子ども）は30歳代・40歳代が高い割合を示した。9月と同じ傾向であるが、家族層でも家族（夫婦）と家族（夫婦+子ども）は年齢層が異なる。またカップル（未婚）、友人は19～29歳が多かったが、60歳以上の友人旅行も多かった。

● 総合分析（回答率：99.0%）

全体	ひとり旅	カップル (未婚)	家族旅行 (夫婦)	家族旅行 (夫婦+子ども)	家族旅行 (その他)	友人	出張 (仕事の空き時間)	その他	無回答	総計
人数	19	18	60	30	20	36	1	24	2	210
割合	9.0%	8.6%	28.6%	14.3%	9.5%	17.1%	0.5%	11.4%	1.0%	100.0%

※ 10%以上で青色

人数	ひとり旅	カップル (未婚)	家族旅行 (夫婦)	家族旅行 (夫婦+子ども)	家族旅行 (その他)	友人	出張 (仕事の空き時間)	その他	無回答	合計
～18	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.48%
19～29	0.5%	3.8%	0.5%	1.0%	1.4%	6.2%	0.0%	0.5%	0.0%	13.81%
30～39	1.9%	1.0%	1.0%	3.8%	1.0%	1.4%	0.0%	0.5%	0.0%	10.48%
40～49	1.4%	1.4%	3.3%	6.2%	1.9%	1.0%	0.5%	2.4%	0.5%	18.57%
50～59	1.9%	1.0%	10.5%	1.4%	1.9%	3.3%	0.0%	1.9%	0.0%	21.90%
60以上	2.9%	1.4%	11.4%	1.0%	2.9%	4.3%	0.0%	5.7%	0.0%	29.52%
年齢無回答	0.5%	0.0%	1.9%	1.0%	0.0%	1.0%	0.0%	0.5%	0.5%	5.24%
合計	9.0%	8.6%	28.6%	14.3%	9.5%	17.1%	0.5%	11.4%	1.0%	100.0%

※ 5%以上で青色

2020年は家族旅行の割合が5割を超え、友人17.1%、その他11.4%、ひとり旅9.0%、カップル（未婚）8.6%のいう結果になった。2019年と比較すると家族旅行の割合が15%程度下落しており、ひとり旅やカップル（未婚）の割合が若干増えている。年齢構成については18歳以下が激減し、19～29歳、50～59歳が増加している。

問3. 今回の旅はいつ計画しましたか。(1つに✓印)

- 1週間以内    1週間～2週間前    3週間～1ヶ月前    1ヶ月～3ヶ月前  
 3ヶ月以上前

●9月分析

9月	1週間以内	1週間～2週間前	3週間～1ヶ月前	1ヶ月～3ヶ月前	3ヶ月以上前	無回答	合計
人数	38	13	23	24	2	1	101
割合	37.6%	12.9%	22.8%	23.8%	2.0%	1.0%	100.0%

※20%以上で青色

9月	1位	2位	3位
1週間以内	福岡県	大分県	鹿児島県
人数	22	12	2
1週間～2週間前	福岡県	大分県	兵庫県・沖縄県
人数	9	2	1
3週間～1ヶ月前	大分県	福岡県	大阪府
人数	12	4	2
1ヶ月～3ヶ月前	福岡県	大分県	東京都
人数	8	5	3
3ヶ月以上前	大分県・滋賀県		
人数	1		

9月は1カ月以内の旅の計画が7割以上を占めるがどの計画期間においても、ほぼ福岡県や大分県などの近郊が多い。

● 11月分析

11月	1週間以内	1週間～ 2週間前	3週間～ 1ヶ月前	1ヶ月～ 3ヶ月前	3ヶ月以上前	無回答	合計
人数	54	16	11	23	1	4	109
割合	49.5%	14.7%	10.1%	21.1%	0.9%	3.7%	100.0%

※20%以上で青色

11月	1位	2位	3位
1週間以内	福岡県	大分県	山口県・長崎県
人数	31	15	2
1週間～ 2週間前	福岡県	大阪府・大分県・ 広島県・兵庫県・ 長崎県	
人数	11	1	
3週間～ 1ヶ月前	福岡県	大阪府・広島県	愛知県・山口県・ 和歌山県・佐賀県
人数	3	2	2
1ヶ月～ 3ヶ月前	福岡県	大阪府・広島 県・長崎県	東京都・兵庫県
人数	7	3	3
3ヶ月以上 前	大阪府		
人数	1		

1カ月以内の旅の計画が7割以上で、福岡県や大分県が多い傾向は9月と同様である。しかし計画期間が長いと九州以外の割合が増える。

●総合分析（回答率：97.6%）

全体	1週間以内	1週間～ 2週間前	3週間～ 1ヶ月前	1ヶ月～ 3ヶ月前	3ヶ月以上前	無回答	合計
人数	92	29	34	47	3	5	210
割合	43.8%	13.8%	16.2%	22.4%	1.4%	2.4%	100.0%

全体	1位	2位	3位
1週間以内	福岡県	大分県	山口県・長崎県・鹿児島県
人数	53	27	2
1週間～ 2週間前	福岡県	大分県	兵庫県
人数	20	3	2
3週間～ 1ヶ月前	大分県	福岡県	大阪府・長崎県
人数	12	7	4
1ヶ月～ 3ヶ月前	福岡県	大分県・東京都	大阪府
人数	16	5	4
3ヶ月以上前	大分県・滋賀県・ 大阪府		
人数	1		

2020年は前年と比べ、旅の計画を1～3か月以内で行う割合が約7%増え、3か月以上前の旅の計画が激減した。近距離の旅の計画を比較的3か月以内で行う傾向が強い。しかしながら時間をかけて、東京都や大阪から旅の計画をする層も一定数いる。

問4. 今回の旅の情報源を教えてください。（複数回答可）

- 新聞（媒体名：新聞）
- 旅行雑誌（媒体名： ）
- テレビ（番組名： ）
- ラジオ（番組名： ）
- 家族や友人知人からの紹介
- 観光イベント（イベント名： ）
- インターネット情報（媒体名： ）
- FacebookなどのSNS（媒体： ）
- 以前来訪した際の経験
- 観光パンフレット（媒体名： ）

## ● 9月分析

情報媒体	人数	割合
新聞	5	5.0%
旅行雑誌	6	5.9%
テレビ	5	5.0%
ラジオ	0	0.0%
家族・知人	22	21.8%
観光イベント	4	4.0%
インターネット情報	14	13.9%
SNS	3	3.0%
経験	31	30.7%
観光パンフレット	11	10.9%
合計	101	100.0%

10%以上で青色

情報媒体	18歳未満	19～29	30～39	40～49	50～59	60代以上	無回答	合計
新聞	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.0%	2.0%	5.0%
旅行雑誌	0.0%	1.0%	0.0%	3.0%	2.0%	0.0%	0.0%	5.9%
テレビ	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%	3.0%	1.0%	0.0%	5.0%
ラジオ	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
家族・知人	0.0%	5.9%	5.0%	4.0%	1.0%	5.9%	0.0%	21.8%
観光イベント	0.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	0.0%	0.0%	4.0%
インターネット情報	0.0%	1.0%	2.0%	5.0%	4.0%	2.0%	0.0%	13.9%
SNS	0.0%	1.0%	0.0%	1.0%	1.0%	0.0%	0.0%	3.0%
経験	0.0%	1.0%	1.0%	4.0%	8.9%	14.9%	1.0%	30.7%
観光パンフレット	0.0%	1.0%	0.0%	2.0%	1.0%	5.9%	1.0%	10.9%
合計	0.0%	12.9%	8.9%	19.8%	21.8%	32.7%	4.0%	100.0%

※5%以上で青色

情報媒体	具体例(人数)
新聞	大分合同新聞(2)、朝日新聞(1)
旅行雑誌	シティ情報大分(1)、続百名城(1)、じゃらん(1)、バイクの旅(1)
テレビ	
ラジオ	
家族・知人	
観光イベント	バスツアー(2)、有楽町イベント(1)
インターネット情報	マピオン(1)、ホームページ(1)
SNS	Facebook(1)
経験	
観光パンフレット	耶馬溪のパンフレット(1)、大分バスツアー(4)

旅の情報源は、自身の経験や家族・知人、インターネット情報、観光パンフレットの順で10%を超え、新聞や旅行雑誌、テレビは5%前後に留まる。

情報媒体別では19～29歳、30～39歳、60歳代以上、インターネットは40～49歳、経験は50～59歳、60歳以上が5%を超えた。

## ● 1 1 月分析

情報媒体	人数	割合
新聞	1	0.9%
旅行雑誌	13	11.3%
テレビ	6	5.2%
ラジオ	1	0.9%
家族・知人	16	13.9%
観光イベント	4	3.5%
インターネット情報	26	22.6%
SNS	6	5.2%
経験	33	28.7%
観光パンフレット	9	7.8%
合計	115	100.0%

10%以上で青色

情報媒体	18歳未満	19～29	30～39	40～49	50～59	60代以上	無回答	合計
新聞	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	1.7%
旅行雑誌	0.0%	2.6%	0.9%	1.7%	0.9%	5.2%	0.0%	11.3%
テレビ	0.0%	1.7%	0.9%	0.9%	1.7%	0.0%	0.0%	5.2%
ラジオ	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%
家族・知人	0.0%	1.7%	0.9%	2.6%	3.5%	1.7%	1.7%	12.2%
観光イベント	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	2.6%	0.9%	4.3%
インターネット情報	0.0%	4.3%	5.2%	4.3%	3.5%	2.6%	2.6%	22.6%
SNS	0.0%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	5.2%
経験	0.0%	4.3%	3.5%	4.3%	11.3%	4.3%	0.9%	28.7%
観光パンフレット	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	1.7%	5.2%	0.0%	7.8%
合計	0.0%	20.9%	11.3%	15.7%	22.6%	23.5%	6.1%	100.0%

※5%以上で青色

情報媒体	具体例 (人数)
新聞	大分合同新聞 (2)、朝日新聞 (1)
旅行雑誌	シティ情報大分 (1)、続百名城 (1)、じゃらん (1)、バイクの旅 (1)
テレビ	
ラジオ	
家族・知人	
観光イベント	バスツアー (2)、有楽町イベント (1)
インターネット情報	マピオン (1)、ホームページ (1)
SNS	Facebook (1)
経験	
観光パンフレット	耶馬溪のパンフレット (1)、大分バスツアー (4)

1 1 月の情報源は経験、インターネット情報、家族・知人、旅行雑誌の順となった。9 月と比べインターネットでの情報入手している割合が約 10%程度増えた。旅行雑誌は 60 歳以上、家族・知人やインターネット情報はどの年代にも満遍なく、経験は 50～59 歳以上が高かった。

●総合分析（回答率：97.0%）

全体	人数	割合
新聞	6	2.8%
旅行雑誌	19	8.8%
テレビ	11	5.1%
ラジオ	1	0.5%
家族・知人	38	17.6%
観光イベント	8	3.7%
インターネット情報	40	18.5%
SNS	9	4.2%
経験	64	29.6%
観光パンフレット	20	9.3%
合計	216	100.0%

10%以上で青色

全体（割合）	18歳未満	19～29	30～39	40～49	50～59	60代以上	無回答	合計
新聞	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.9%	0.9%	2.8%
旅行雑誌	0.0%	1.9%	0.5%	2.3%	1.4%	2.8%	0.0%	8.8%
テレビ	0.0%	1.4%	0.5%	0.5%	2.3%	0.5%	0.0%	5.1%
ラジオ	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%
家族・知人	0.0%	3.7%	2.8%	3.2%	2.3%	4.6%	0.9%	17.6%
観光イベント	0.0%	0.5%	0.5%	0.9%	0.5%	0.9%	0.5%	3.7%
インターネット情報	0.0%	2.8%	3.7%	4.6%	3.7%	2.3%	1.4%	18.5%
SNS	0.0%	2.8%	0.0%	0.5%	0.5%	0.5%	0.0%	4.2%
経験	0.0%	2.8%	2.3%	4.2%	10.2%	9.3%	0.9%	29.6%
観光パンフレット	0.0%	0.5%	0.0%	1.4%	1.4%	5.6%	0.5%	9.3%
合計	0.0%	16.7%	10.2%	17.6%	22.2%	28.2%	5.1%	100.0%

※5%以上で青色

2020年は経験、インターネット情報、家族・知人、観光パンフレットの順で情報源となったが、自身の経験や家族・知人からの情報が全体の4割以上で昨年同程度、インターネット・SNS経由の合計が前年から5%以上伸び、ほかの媒体も同程度だった。

問5. 今回の旅の決定要因を教えてください。（複数回答可）

- |                                     |                                    |
|-------------------------------------|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> グルメ（具体例：   | <input type="checkbox"/> 自然等（具体例：  |
| <input type="checkbox"/> 歴史・文化（具体例： | <input type="checkbox"/> イベント（具体例： |
| <input type="checkbox"/> 宿泊施設（具体例：  | <input type="checkbox"/> 体験旅行（具体例： |
| <input type="checkbox"/> お土産等（具体例：  | <input type="checkbox"/> その他（具体例：  |

## ● 9月分析

項目	人数	割合
グルメ	28	22.0%
自然等	32	25.2%
歴史・文化	30	23.6%
イベント	0	0.0%
宿泊施設	12	9.4%
体験旅行	4	3.1%
お土産等	4	3.1%
その他	17	13.4%
合計	127	100.0%

※20%以上で青色

項目	具体例（括弧内は人数）
グルメ	鱧（11）、からあげ（1）、ぶどう（1）
自然等	耶馬溪（3）、キャンプ（3）
歴史・文化	中津城（7）、福澤旧居・記念館（1）、中津街道課（1）、耶馬溪（1）、羅漢寺（1）
イベント	
宿泊施設	三日月の滝（2）、別府インターコンチネンタル（1）、別府（2）、黒川（1）
体験旅行	温泉（1）
お土産等	ビスマン（1）
その他	ツーリング（7）、ドライブ（1）、社内ツアー（1）、温泉（1）

グルメ、自然等、歴史・文化が旅の決定要因の上位を占める。特にグルメは鱧が突出して多く、歴史・文化では中津城が多かった。宿泊施設も10%近く選ばれたものの、具体例では市外の宿泊施設目立った。イベントや体験旅行、お土産はかなり少ない。

## ● 11月分析

項目	人数	割合
グルメ	18	13.0%
自然等	53	38.4%
歴史・文化	38	27.5%
イベント	3	2.2%
宿泊施設	9	6.5%
体験旅行	3	2.2%
お土産等	5	3.6%
その他	9	6.5%
合計	138	100.0%

※20%以上で青色

項目	具体例（括弧内は人数）
グルメ	唐揚げ（4）、はも（1）、とり天（1）、しいたけ焼き（1）、別府の肉・魚、（1）
自然等	紅葉（19）、耶馬溪（4）、高千穂（1）
歴史・文化	中津城（6）、福澤旧居・記念館（2）、宇佐神宮（1）、耶馬溪（1）、美術作品（1）、岡城（1）
イベント	記念年（1）、由布の森（1）
宿泊施設	ト仙の郷（1）、バリアフリー（1）
体験旅行	
お土産等	からしいたけ（1）、そばまんじゅう（1）、そば（1）
その他	近場（1）、通りすがり（1）、距離・移動時間（1）、買い物（1）、ぶらり（1）

11月は9月と比べて自然等や文化・歴史の割合が増え、グルメが減少した。自然ではシーズン中の紅葉が多く、歴史・文化では9月と同様中津城が多かった。



### 市内宿泊

泊数	人数	割合
1泊	2	28.6%
2泊	2	28.6%
3泊	0	0.0%
4泊以上	0	0.0%
無回答	3	42.9%
合計	7	100.0%

※20%以上で青色

つきのほたる、オーベルジュ 楓乃木

### 市外宿泊地

順位	宿泊地	人数
1	大分県別府市	7
2	大分県九重町	3
3	福岡県朝倉市	1
3	大分県由布市	1
3	佐賀県唐津市	1
3	山口県下関市	1
3	福岡県北九州市	1
3	宮崎県延岡市	1
3	大分県玖珠町	1
3	熊本県	1
3	熊本県阿蘇市	1
3	熊本県南小国町	1
	無回答	10
	合計	30

日帰りが60%を超え、滞在時間は無回答が多数を占めたものの、4～6時間滞在、6時間以上の滞在が10%を超えた。市内宿泊者は1、2泊をメインに回答があったが、市外宿泊者は別府市、九重町が多かった。

### ●11月分析

項目	人数	割合
日帰り	65	59.6%
市内宿泊	11	10.1%
市外宿泊	32	29.4%
無回答	1	0.9%
合計	109	100.0%

※20%以上で青色

## 日帰り

滞在時間	人数	割合
2 時間未満	8	12.3%
2 時間～4 時間未満	15	23.1%
4 時間～6 時間未満	5	7.7%
6 時間以上	6	9.2%
無回答	31	47.7%
合計	65	100.0%

※20%以上で青色

## 市内宿泊

泊数	人数	割合
1 泊	3	27.3%
2 泊	4	36.4%
3 泊	0	0.0%
4 泊以上	0	0.0%
無回答	4	36.4%
合計	11	100.0%

※20%以上で青色

※スーパーホテル、グランプラザ、豊東横イン、ルートイン

## 市外宿泊地

順位	宿泊地	人数
1	大分県別府市	7
2	大分県由布市	5
3	大分県大分市	4
4	大分県九重町	2
4	福岡県北九州市	2
4	熊本県	2
7	熊本県阿蘇市	1
7	福岡県豊前市	1
7	大分県豊後高田市	1
7	鹿児島県	1
7	大分県竹田市	1
7	長崎県長崎市	1
7	大分県宇佐市	1
	無回答	3
	合計	32

9月と同様で日帰りが約6割、市外宿泊が約3割、市内宿泊者の割合が若干増えている。市内宿泊は1泊、2泊のみ回答あり。市外宿泊は別府や由布市、大分市など県内が人気であった。

●総合分析（回答率：98.1%）

全体	人数	割合
日帰り	126	60.0%
市内宿泊	18	8.6%
市外宿泊	62	29.5%
無回答	4	1.9%
合計	210	100.0%

※20%以上で青色

日帰り

滞在時間	人数	割合
2時間未満	8	6.3%
2時間～4時間未満	20	15.9%
4時間～6時間未満	12	9.5%
6時間以上	13	10.3%
無回答	73	57.9%
合計	126	100.0%

※20%以上で青色

市内宿泊

泊数	人数	割合
1泊	5	27.8%
2泊	6	33.3%
3泊	0	0.0%
4泊以上	0	0.0%
無回答	7	38.9%
合計	18	100.0%

※20%以上で青色

## 市外宿泊

全体	市外宿泊地	人数	割合
1	別府市	14	22.6%
2	由布市	6	9.7%
3	九重町	5	8.1%
4	大分市	4	6.5%
5	熊本県	3	4.8%
6	北九州市	3	4.8%
7	阿蘇市	2	3.2%
8	小国町	1	1.6%
8	宇佐市	1	1.6%
8	鹿児島県	1	1.6%
8	玖珠町	1	1.6%
8	唐津市	1	1.6%
8	長崎市	1	1.6%
8	豊後高田市	1	1.6%
8	朝倉市	1	1.6%
8	豊前市	1	1.6%
8	延岡市	1	1.6%
8	下関市	1	1.6%
	空欄	14	22.6%
合計		62	100.0%

昨年と比べ、日帰り旅行が約10%増え、市内宿泊者の割合が約13%減っている。日帰り旅行者の無回答者は増えたため、結果的に4～6時間の日帰り滞在者は5%減少した。市外宿泊地も前年と概ね同じであるが、福岡市がランク外となった。

問7. 今回の旅で一番心に残ったグルメを教えてください。(自由記述)

料理名 ( )

店名 ( )

● 9月分析

順位	心に残ったグルメ	人数	回答率	店名
1	無回答	79	78.2%	
2	鰻料理	6	5.9%	瑠璃京 (3)
3	ハモカツバーガー	2	2.0%	
3	中津からあげ	2	2.0%	
3	赤牛	2	2.0%	
3	そばまんじゅう	2	2.0%	
3	そば・新そば・そば料理	2	2.0%	
3	特になし	2	2.0%	

無回答が78%に達する。鰻料理（瑠璃京）やハモカツバーガー、中津からあげなど中津グルメが上位を占めた。

● 11月分析

全体	心に残ったグルメ	人数	回答率	店名
1	無回答	56	47.5%	
2	中津からあげ・からあげ	11	9.3%	
3	だんご汁	9	7.6%	レストハウス洞門 (1)
4	かに	3	2.5%	
4	そば・新そば・そば料理	3	2.5%	丸清 (1)
4	山かけそば	3	2.5%	深瀬屋 (1)
4	とり天	3	2.5%	
8	カレー	2	1.7%	蓬萊観 (2)
8	鶏の炭火焼き	2	1.7%	とろろ庵 (1)
8	焼きだんご	2	1.7%	
8	しいたけの天ぷら	2	1.7%	露店 (2)

9月と比べ無回答率は下がり、中津からあげやだんご汁、そばなどが上位を連ねた。

● 総合分析 (回答率：38.4%)

全体	心に残ったグルメ	人数	回答率	店名
1	無回答	135	61.6%	
2	中津からあげ・からあげ	13	5.9%	もりやま (2)、あげどころぶんごや (2) 本店からいち (1)、ザめしや (1)、村上食堂 (1)
3	だんご汁	9	4.1%	洞門レストハウス (1)
4	鰻料理	7	3.2%	瑠璃京 (2)、ト仙の郷 (1)
5	そば・新そば・そば料理	5	2.3%	鹿鳴館 (2)、豊後高田市 (1)

この設問は2020年からの新設で、無回答率が目立った。9月は10時～13時のお食事時に実施したため、お食事前の回答で無回答が多かったと考えられる。そのため11月の14時～17時と乖離が出たと考えられる。中津からあげや鰻料理が上位で設問5の旅の決定要因グルメに通じている。

問8. 今回の旅全体の予算額を教えてください。(おひとり様あたり) (回答率: 91.0%)

(単位:円)	昼食	お土産	夕食	宿泊費	交通費	体験料	その他	計	回答率
2020年全体	2,018	1,705	1,766	5,242	3,766	409	712	<b>15,618</b>	91.0%
2020年宿泊(市内)	2,948	1,714	3,834	8,614	9,382	1,514	1,581	<b>29,587</b>	
2020年宿泊(市外)	3,661	3,784	5,545	18,166	9,888	920	2,059	<b>44,023</b>	
2020年日帰り	1,298	597	108	0	808	89	107	<b>3,007</b>	
2020年11月全体	2,157	2,010	2,237	3,352	3,046	539	566	<b>13,907</b>	
2020年9月全体	1,859	905	1,226	7,408	4,590	260	880	<b>17,128</b>	
2019年全体	3,975	2,870	2,676	6,293	7,470	420	865	<b>24,569</b>	
2019年宿泊	5,490	4,509	5,953	14,673	16,383	771	1,536	<b>49,315</b>	
2019年日帰り	2,791	1,780	650	621	2,230	220	479	<b>8,771</b>	

2020年は、全体(宿泊+日帰り)で15,618円となり、昨年と比べ約9,000円程度減少となった。宿泊と日帰りそれぞれの予算ともに昨年と比べて減少(共通して昼食代・お土産代・夕食代、交通費の4項目)している。なお2020年は9月の予算のほうが11月と比べて3,000円程度高くなっている。

問9. 今回の旅の交通手段を教えてください。(複数回答可)

自家用車    レンタカー    タクシー    電車(在来線)    新幹線    路線バス  
観光バス    飛行機    自転車    徒歩    その他( )

●9月分析

	自家用車	レンタカー	タクシー	電車(在来線)	新幹線	路線バス	観光バス	飛行機	自転車	徒歩	その他	無回答	合計
人数	54	10	0	4	0	1	20	4	0	3	11	1	108
回答割合	50.0%	9.3%	0.0%	3.7%	0.0%	0.9%	18.5%	3.7%	0.0%	2.8%	10.2%	0.9%	100%

※10%以上が青色

	具体例(人数)
その他	バイク(8)

9月は自家用車が50%と観光バス18.5%、レンタカーは9.3%となり、その他はバイクが多かった。

## ● 11月分析

	自家用車	レンタカー	タクシー	電車 (在来線)	新幹線	路線バス	観光バス	飛行機	自転車	徒歩	その他	無回答	合計
人数	76	10	1	7	7	2	11	2	1	3	2	0	122
回答割合	62.3%	8.2%	0.8%	5.7%	5.7%	1.6%	9.0%	1.6%	0.8%	2.5%	1.6%	0.0%	100%

### ※ 10%以上が青色

11月は自家用車62.3%と上昇し、観光バス9.0%と半減、レンタカー8.2%と少し減少した。

## ● 総合分析 (回答率：99.6%)

全体	自家用車	レンタカー	タクシー	電車 (在来線)	新幹線	路線バス	観光バス	飛行機	自転車	徒歩	その他	無回答	合計
人数	130	20	1	11	7	3	31	6	1	6	13	1	230
回答割合	56.5%	8.7%	0.4%	4.8%	3.0%	1.3%	13.5%	2.6%	0.4%	2.6%	5.7%	0.4%	100%

### ※ 10%以上は青色

昨年と比べて自家用車の割合は15%程度下がり56.5%となったが、その反面バス類(路線バス、観光バス)の利用率が上がっている。レンタカーはほぼ同様の割合(8.7%)であったが、電車類(在来線、新幹線)は割合が下がった。

問10. 今回の旅では、中津の観光地でどこを訪れます(した)か。(複数回答可)

- |                                   |  |                                  |
|-----------------------------------|--|----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 中津城      | <input type="checkbox"/> 中津市歴史博物館        | <input type="checkbox"/> 日之出町商店街 |
| <input type="checkbox"/> 寺町       | <input type="checkbox"/> 福澤旧居・記念館        | <input type="checkbox"/> 薦神社     |
| <input type="checkbox"/> 八面山      | <input type="checkbox"/> 道の駅なかつ          | <input type="checkbox"/> 青の洞門    |
| <input type="checkbox"/> 耶馬トピア    | <input type="checkbox"/> メイプル耶馬サイクリングルート | <input type="checkbox"/> 耶馬溪の石橋  |
| <input type="checkbox"/> 御霊もみじ    | <input type="checkbox"/> 耶馬溪ダム・アケパーク     | <input type="checkbox"/> 溪石園     |
| <input type="checkbox"/> 一目八景     | <input type="checkbox"/> 猿飛千壺峡           | <input type="checkbox"/> からあげ店   |
| <input type="checkbox"/> 鱧(はも)料理店 | <input type="checkbox"/> その他( )          |                                  |

● 9 月分析

スポ ット	中 津 城	中 津 市 歴 史 博 物 館	日 之 出 町 商 店 街	寺 町	福 澤 論 吉 旧 居 ・ 記 念 館	薦 神 社	八 面 山	道 の 駅 な か つ	青 の 洞 門	耶 馬 ト ピ ア	サイ ク リ ン グ ロ ー ド
人 数	35	9	0	3	27	6	4	17	34	4	1
割 合	34.7%	8.9%	0.0%	3.0%	26.7%	5.9%	4.0%	16.8%	33.7%	4.0%	1.0%
スポ ット	耶 馬 溪 の 石 橋	御 霊 も み じ	耶 馬 溪 ダ ム	溪 石 園	一 目 八 景	猿 飛 千 壺 峽	か ら あ げ 店	鱧 料 理 店	そ の 他	無 回 答	平 均 訪 問 数
人 数	13	1	9	3	25	1	10	14	6	6	2.19
割 合	12.9%	1.0%	8.9%	3.0%	24.8%	1.0%	9.9%	13.9%	5.9%	5.9%	

※ 10%以上が青色

調査ポイント付近である中津城や福澤旧居・記念館、一目八景、また青の洞門が多かった。一目八景付近のサンプル数が多いが、結果24.8%に留まっているのは食事かトイレ利用のみという観光客も多かったと考えられる。中津城の利用者に比べ、中津歴史博物館の利用者が伸び悩んでいるため、連携したプロモーションが必要である。

● 11月分析

スポ ット	中 津 城	中 津 市 歴 史 博 物 館	日 之 出 町 商 店 街	寺 町	福 澤 論 吉 旧 居 ・ 記 念 館	薦 神 社	八 面 山	道 の 駅 な か つ	青 の 洞 門	耶 馬 ト ピ ア	サイ ク リ ン グ ロ ー ド
人 数	54	11	1	2	31	1	6	14	39	6	2
割 合	49.5%	10.1%	0.9%	1.8%	28.4%	0.9%	5.5%	12.8%	35.8%	5.5%	1.8%
スポ ット	耶 馬 溪 の 石 橋	御 霊 も み じ	耶 馬 溪 ダ ム	溪 石 園	一 目 八 景	猿 飛 千 壺 峽	か ら あ げ 店	鱧 料 理 店	そ の 他	無 回 答	平 均 訪 問 数
人 数	19	9	10	9	45	4	16	0	3	3	2.54
割 合	17.4%	8.3%	9.2%	8.3%	41.3%	3.7%	14.7%	0.0%	2.8%	2.8%	

※ 10%以上が青色

11月も9月と同様、調査ポイントである中津城、福沢旧居・記念館、一目八景と青の洞門が上位だったが、紅葉のシーズンであるため、一目八景を訪れる割合が大幅に増えている。そのほか紅葉スポットである御霊もみじや溪石園の訪問割合も増え、平均訪問数も増加した。

●総合分析（回答率：95.7%）

スポット	中津城	中津市歴史博物館	日之出町商店街	寺町	福澤諭吉旧居・記念館	薦神社	八面山	道の駅なかつ	青の洞門	耶馬トピア	サイクリングロード
人数	89	20	1	5	58	7	10	31	73	10	3
割合	42.4%	9.5%	0.5%	2.4%	27.6%	3.3%	4.8%	14.8%	34.8%	4.8%	1.4%
スポット	耶馬溪の石橋	御霊もみじ	耶馬溪ダム	溪石園	一目八景	猿飛千壺峡	からあげ店	鱧料理店	その他	無回答	平均訪問数
人数	32	10	19	12	70	5	26	14	9	9	2.37
割合	15.2%	4.8%	9.0%	5.7%	33.3%	2.4%	12.4%	6.7%	4.3%	4.3%	

※10%以上が青色

2019年と比べ、屋内観光施設の割合が減っている。中津城で約14%減、福澤旧居・記念館は約21%減、また中津城に隣接している中津市歴史博物館も低い水準であり、それに連動して寺町も約9%減となった。その反面、青の洞門や耶馬溪の石橋、御霊もみじなどの屋外観光スポットは増えている。平均訪問数は昨年とほぼ同数となった。

問 1 1. 中津市内の観光で困ったことはありますか。(自由記述)

集計結果は下記のとおり

● 9月集計

順位	回答	人数	具体例
1	無回答	83	
2	特にない	9	
3	無効	3	トイレがどこに行っても綺麗です。自然豊かに癒されて毎回来ます。 観光で困ったことなし。
4	案内が分かりにくい	3	郊外の道が分かりにくい 案内が分かりにくい
6	レンタルサイクルについて	1	レンタサイクルの借り方、コース
7	駐車場	1	市内は単車の駐車場が少ない。
8	その他	1	

● 11月集計

順位	回答	人数	具体例
1	無回答	88	
2	特にない	18	
3	お食事処について	1	お昼食食べる場所がなかった。お休みが多かった。
3	アクセス	1	耶馬溪への移動のしにくさ
3	営業再開について	1	山国川の河川敷にあるキャンプベースの一刻も早い復旧を望みます

● 総合集計 (回答率：18.5%)

順位	回答	人数
1	無回答	171
2	特にない	27
3	無効	3
3	案内が分かりにくい	3
5	アクセスについて	1
5	お食事処について	1
5	営業再開について	1
5	レンタルサイクルについて	1
5	駐車場	1
5	その他	1